

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	骨髄移植ドナー支援事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	04	01	01	10	58
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	骨髄・末梢血幹細胞提供者（ドナー）及びドナーが勤務する事業所	意図	ドナー及びドナーが勤務する事業所の経済的な負担を軽減し、骨髄移植等の推進を図るとともに広く市民に骨髄移植の普及啓発を図る。
事業内容	ドナー登録をして骨髄提供者になった場合、骨髄採取時に通常3日から4日の入院及び検査のための数回の通院が必要となることから職場を休まざるを得ないため、経済的な理由等からドナーを辞退する場合がある。このため、ドナーの経済的支援として、ドナー及びドナーが勤務する事業所に対し助成金を交付するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	平成30年度からの新規事業として、県の補助金を活用した事業として実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	助成金申請件数（ドナー）			0 件	↑↑↑	
	②	助成金申請件数（事業所）			0 件	↑↑↑	
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	市民まつり、市役所での献血の実施に合わせ献血併行型骨髄バンクドナー登録会を6回実施し、ドナー登録及び骨髄移植ドナー支援事業の周知を行った。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ドナー登録をして骨髄提供者になった場合の助成金であり、初年度の申請実績はなかった。		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)							
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)		③取組における課題(Check)	ドナー登録をして骨髄提供者になった場合の助成金であり、初年度の申請実績はなかった。
②H30に実施した取組(Do)		④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	広報・ホームページ等で当該助成の周知を図るとともに、献血併行型ドナー登録会を実施するなど、ドナー登録についても呼びかけていく。